

(共同リリース)

2017年9月21日
日本航空株式会社
ボーイングジャパン

国内線仕様のボーイング 787-8 型機を導入します ～国際線で活躍する低騒音機として定評のある機材を国内線にも導入～

日本航空株式会社(本社:東京都品川区 社長:植木 義晴 以下、「JAL」)は、Boeing(本社:シカゴ:会長、社長兼 CEO デニス A. マレンバーク 以下、「ボーイング」)が製造する、国内線仕様のボーイング 787-8 型機を 2019 年より初めて 4 機を導入します。

現在、JAL では、国際線機材としてボーイング 787-8 型機を 25 機導入し、ボーイング 787-9 型機も 9 機導入しています。(計 20 機発注) LED 照明や電子シェードなど機内の設備も先進的であり、お客さまには、大変ご好評をいただいています。また、機内での快適性はもちろんのこと、非常に低騒音で運航できる機材であるということが大きな利点です。この利点を最大限活用すべく、東京(羽田)=大阪(伊丹)線を中心とした大阪国際空港(伊丹)発着路線への導入を行い、空港周辺における騒音低減に努めてまいります。



【ボーイング 787-8 型機 諸元】

全長	56.7m
全幅	60.1m
全高	16.9m
装備エンジン	GE 社製 GEnx-1B
巡航速度	916 km/h
航続距離	14,800 km